

歯科医学概論

コーディネーター : 教務委員長
 担当講座 (分野) : 歯学部専門教育担当教授、他

第1学年 前期・後期		講義	実習
	前期	12時間	
	後期	24時間	52.5時間

教育成果 (アウトカム)

歯科医学は医学の一分野であるとともに、口腔領域、口腔疾患の独自性・特殊性の故に独立した領域を形成している。それゆえ、医学・歯学についての幅広い知識・技能、および問題抽出・解決能力に裏打ちされた自己開発能が必要となるが、さらに、歯科医師となるには口腔保健・歯科医療の専門職としての必要な基本的態度を身につけることが必須となる。このため、歯科医学の基本となる概念を各専門分野の観点から多角的に学ぶことにより、歯科医学・医療の本質を正しく理解するとともに、歯科医学を学ぶ意欲と歯科医師としての基本的態度を身につける。(ディプロマポリシー: 1, 2, 3, 9)

事前学修内容及び事前学修時間 (30分)

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修 (予習・復習) を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月16日(月) 4限	三浦廣行歯学部長	歯学概論 歯科医学が果たす役割と将来プロフェッショナルになるために身につける態度・知識・技能を理解する。	1. 歯科医学の領域と役割を説明できる。 2. 歯科医師の心構えを理解する。 [A-1-1-①~⑥, A-1-2-①~④, A-1-3-①~⑤]
5月7日(月) 4限	石崎 明教授 (研究推進委員長)	研究のこころ 生命科学の一分野としての歯科医学における研究の意義を理解すると共に、歯科医師にとって研究を通じて得られる科学的思考力の重要性について理解を深める。	1. 歯科医学における研究とその意義について説明できる。 2. 知識・技術と科学的思考力の関係について説明できる。 3. 歯科医師にとっての研究マインドについて説明できる。 [A-2-1-①~⑤, A-2-2-①~⑤, A-8-1-①~③, A-9-1-①~④]
5月16日(水) 3限	岸 光男教授 (予防歯科学)	問題発見・解決能力 自ら課題を見つけ、自分で学習するという自学自習について理解し、その実践方法、習慣について理解を深める。	1. 自学自習ということ、および、その具体的実践方法について理解する。 2. 自学自習の習慣を身につけることの意義について理解する。 [A-9-1-①~④]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月23日(水) 3限	佐藤和朗教授 (歯科医療センタ ー長)	歯科医療センターの役割 歯科医療センターの診療システムと歯学教育・地域医療における役割について理解する。	1. 歯科医療センターの診療システムの概略を説明できる。 2. 歯科医療センターの役割の概略を説明できる。 3. 歯科医療センターと地域医療システムとの関わりを説明できる。 [A-1-2-①～④, A-1-3-①～⑤, A-3-①～⑥, A-5-1-①～⑥, A-7-1-①～⑦]
6月4日(月) 3限	米満正美 前教授 (非常勤講師)	健康と歯科医療 ヒトの健康とは如何なるものか、健康にとって歯科医療の果たす役割について理解する。	1. 健康の概念を理解する。 2. 健康を維持するために必要な事項について理解する。 3. ヒトの健康にとって歯科医療の果たす役割について理解する。 [B-1, B-2-2-①～⑤, B-2-4-①, ②]
6月11日(月) 3限	千葉俊美教授 (関連医学分野)	高齢社会の疾病構造 超高齢社会となった我が国の医療が抱える問題を把握し、どのように疾病構造が変化してきたかを理解する。	1. 高齢社会が抱える諸問題を説明できる。 2. 我が国の疾病構造を説明できる。 3. 歯科医師として身につけなければならない医学知識を説明できる。 [E-6-①～④]
6月18日(月) 3限	佐々木勝忠講師 (非常勤講師)	地域歯科医療とチーム医療 地域医療の一員としての地域歯科医院の役割を理解する。	1. 地域歯科医療の役割を説明できる。 2. 患者への配慮ができる。 3. 地域との連携を説明できる。 4. 他職種との連携の重要性を説明できる。 [A-7-1-①～⑤]
6月25日(月) 3限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	摂食嚥下リハビリテーション 摂食嚥下リハビリテーションの全体像を理解する。	1. 摂食嚥下リハビリテーションが必要な高齢者の状況を説明できる。 2. 摂食嚥下リハビリテーションの意義について説明できる。 3. 摂食嚥下リハビリテーションの手法について説明できる。 [E-5-1-⑧～⑩]
9月5日(水) 2限	阿部晶子准教授 (予防歯科学)	看護・介護における口腔衛生の意義 看護・介護における口腔衛生の意義と歯科医師の役割について理解を深める。	1. 高齢者、障害者における口腔衛生の意義を理解する。 2. 看護、介護施設における口腔衛生の実際を理解する。 3. チーム看護、介護における歯科医師の役割を理解する。 [E-5-1-③, ④]
9月7日(金) 3限	佐藤保客員教授	地域包括ケアシステムにおける歯科医療 地域包括ケアシステムにおける歯科医師の果たす役割について理解する。	1. 介護保険法を説明できる。 2. 介護保険施設を分類できる。 3. 介護保険施設の目的を説明できる。 4. 介護保険施設と歯科医療の関わりを理解する。 [A-5-1-①～④, A-7-1-①～⑦]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月7日(金) 4限	佐藤悦子看護部長	看護体験実習ガイダンス 看護の意義について理解し、 歯科医師との関わりについて 理解を深める。	1. 看護の定義を説明できる。 2. 看護職の業務を説明できる。 3. 看護の重要性を説明できる。 4. 看護と歯科医療との関わりを理解できる。 [A-5-1-①～③]
9月12日(水) 3限	三浦廣行歯学部長	歯科医師としての基本的態度 と習慣 専門職としての歯科医師の基 本的態度と習慣、生涯学習に ついて理解する。	1. 専門職としての歯科医師の基本的態 度について理解する。 2. 歯科医師としての習慣、生涯学習の意 義について理解する。 3. 歯科医師としての基本的態度、習慣を 身につけるための学習方法を理解す る。 [A-1-2-①～④, A-4-1-①, ②]
9月26日(水) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	看護・介護体験実習について 看護・介護体験実習の意義に ついて理解する。	1. 看護、介護の実際を知る。 2. 患者さんや障害者の方の不安や苦し みを感じる。 3. 医師、歯科医師、看護師によるチーム 医療を知る。 4. 高齢者、障害者に対する医療、社会保 障の問題を考える。 [A-4-1-①, ②, A-4-2-①～⑦, A-5-1-① ～③, G-4-①～③]
10月22日(月) 2限	藤澤美穂助教 (心理学・行動科 学分野)	ストレスマネジメント (1) ストレスのメカニズムについ て理解する。	1. 心理的ストレスプロセスモデルにつ いて説明できる。 2. ストレス反応について説明できる。 3. ストレスコーピングのバリエーショ ンについて理解する。
10月24日(水) 3限	藤澤美穂助教 (心理学・行動科 学分野)	ストレスマネジメント (2) 自分自身についての理解を促 進するとともに、ストレスマ ネジメント概念の理解を通 し、セルフコントロールへの 意識を高める。	1. ストレスマネジメント教育の一次予 防的意義について説明できる。 2. 学生生活サイクルを理解する。 3. セルフコントロールの手がかりをつ かむことができる。
10月29日(月) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	コミュニケーション コミュニケーションの意義 と、歯科医師にとって必要な コミュニケーション能力につ いての理解を深める。	1. コミュニケーションについて説明で きる。 2. 良好な患者－歯科医師関係、ラポール を理解する。 3. ラポール構築に必要なコミュニケー ション能力について理解する。 4. コミュニケーション能力向上に向け た取組みを列举できる。 [A-4-1-①, ②, A-4-2-①～⑦]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月31日(水) 3限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	インフォームド・コンセント 歯科医療を行う際に欠くことのできないインフォームド・コンセントについて理解する。	1. インフォームド・コンセントを説明できる。 2. インフォームド・コンセントに際して、歯科医師が行うべきことを説明できる。 3. インフォームド・コンセントの重要性を説明できる。 4. インフォームド・コンセントが不十分な際に生ずることを説明できる。 [A-1-2-①～④]
11月14日(水) 3限	千葉俊美教授 (関連医学分野)	歯科医師に必要な医学的知識 歯科治療が必要な患者では様々な基礎疾患を有する場合がある。どのような基礎疾患が歯科治療を行う上で注意すべきかを理解する。	1. 主要な医科疾患の症候を説明できる。 2. 主要な身体診察を説明できる。 3. 妊娠時の管理に必要な基礎知識を説明できる。 4. 小児の代表的な疾患を説明できる。 [E-6-①～④]
11月14日(水) 4限	中村千賀子講師 (非常勤講師)	コミュニケーションの基本講習 コミュニケーションの意義と、歯科医師にとって必要なコミュニケーション能力についての理解を深める。	1. プロフェッションを理解できる。 2. 医療の使命について説明できる。 3. コミュニケーションを理解し、実施できる。 4. 自己紹介ができる。 5. 体験学習の目標を理解できる。 [A-4-1-①, ②, A-4-2-①～⑦]
11月19日(月) 2限	諏訪部章教授 (臨床検査医学)	歯科医療における臨床検査の意義 一般歯科診療では、さまざまな基礎疾患を有する患者が来院する。それらを診断し病態を把握する上で必要な臨床検査の意義について理解する。	1. 歯科診療における臨床検査の位置づけと重要性について概略を述べることができる。 2. 歯科医師とその他の医療従事者(臨床検査技師を含む)の役割について述べることができる。 [E-1-3-①～⑤]
11月26日(月) 2限	櫻井滋教授 (睡眠医療学科)	歯科領域における災害医療の意義 災害医療の意義について理解を深めるとともに、歯科医師の役割について意識を高める。	1. 災害医療について理解する。 2. 災害医療における歯科医療の意義について理解する。 [A-7-1-⑥, B-2-2-⑨]
11月28日(水) 3限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	救急蘇生法 救急蘇生の意義について理解し、必要な時に適切な処置について理解を深める。	1. 患者の意識を確認できる。 2. 気道の確保ができる。 3. 口対口の人工呼吸ができる。 4. 体外式心マッサージができる。 5. AEDを操作できる。 [E-1-6-②]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月10日(月) 2限	遠藤寿一教授 (哲学分野)	医の倫理 生命倫理、医の倫理についての理解を深め、歯科医師としての倫理意識を深める。	1. 医の倫理と生命倫理の歴史的経過と諸問題を概説できる。 2. 医の倫理に関する規範・国際規範(ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言)を概説できる。 3. 生と死に関わる倫理的問題を説明できる。 [A-1-1-①～⑥]
12月12日(水) 3限	佐藤和朗教授 (教育部門長)	歯科医師になるために学ぶこと 歯学部における勉学で、歯科医師となるためには何を学び、何を身につけなければならないかを理解する。	1. 歯学部における講義・実習で身につけるべきことについて説明できる。 2. 倫理と知識・技術の関係について説明できる。 3. 歯科医師としての生涯研修について説明できる。 4. 歯科医師になるためのロードマップを理解する。 5. 各学年で身につけるべき知識・技術について理解する。 6. 自学自習の重要性を理解する。 [A-9-1-①～④]

教育成果（アウトカム）（看護・介護体験実習）

本学歯学部での特色ある教育プログラムの一つである「学外連携教育プログラム」のユニットとして、学外施設との連携のもと、看護・介護体験実習を実施する。この実習を通して、全人的な観点からみた歯科医療の意義について理解する。

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月2日(火)～ 12日(金) 終日	附属病院病棟	看護体験実習	看護の現状を知り、看護に必要な態度と知識を身につける。
10月2日(火)～ 12日(金) 終日	各介護施設	介護体験実習	介護の現状を知り、介護に必要な態度と知識を身につける。
11月5日(月) 2～4時限	介護体験実習担当教員	看護・介護体験実習発表会	看護・介護体験実習を通して真何度事をまとめ、今後の勉学にどのようにつなげるかを発表出来る。

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書名	著者氏名	発行所	発行年
参	デンタル・エシックスー歯科の倫理問題	ジェームス・T. ルール, ロバート・M. ヴィーチ 著, 柳沢有吾 翻訳	クインテッセンス出版	2001年
参	口腔の病気と全身の健康	田中健蔵、北村憲司 監修	福岡歯科大学	2011年
参	スタンダード社会歯科学 第6版	石井拓男・尾崎哲則・平田創一郎・平田幸夫 編著 檜則章・瀬川洋・日高勝美・福田雅臣・藤井一維・俣木志朗・山本龍生 著	学建書院	2016年

成績評価方法

講義：出席 ----- 10%
 レポート ----- 90%

実習：出席 ----- 55%
 実習態度評価点 ----- 35%
 発表会プレゼンテーション ----- 10%

全人的医療基礎講義（下記）の聴講態度及びレポートによる評価を成績に加味する。

第1回 4月13日（金）4時限 祖父江憲治学長特別講義

第2回 9月14日（金）4時限 川田龍平客員教授特別講義「薬害を考える」

第3回 10月26日（金）4時限 会田薫子講師特別講義「長寿時代のエンドオブライフ・ケア」

講義、実習、全人的医療基礎講義のいずれもが合格点に達することが必要。本科目の最終評価点は講義50%、実習50%として算出する。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
デスクトップパソコン ProDesk400一式	G4 SF/CT 1	基礎実習・研究用機器	講義・実習配布資料作成